

国道121号 あいづじゆうかんきた 会津縦貫北道路
「会津まつり前までに」全線開通します。
～地域産業・観光・緊急医療に貢献～

国土交通省が事業を進めて参りました、一般国道121号会津縦貫北道路の未開通区間となっている湯川南ICゆがわみなみ～会津若松北ICあいづわかまつきた間（延長約3.0km）が「会津まつり前までに」開通する見込みとなりましたので、お知らせします。

今回の開通により、これまで整備を進めて参りました喜多方ICきたかた～湯川南ICゆがわみなみと合わせて全線（延長約13.1km）が開通することとなり、喜多方市を中心とした物流の円滑化、観光の活性化等に貢献することが期待されます。

○開通による主な整備効果

- 効果1：喜多方市へ企業14社が進出・増設し、新たな雇用を創出
- 効果2：主要観光拠点間のスムーズな移動確保により、観光振興を支援
- 効果3：迅速・安定した緊急搬送ルートを確保

1. 開通区間

○一般国道121号 会津縦貫北道路

ゆがわみなみ 湯川南ICあいづわかまつきた～会津若松北IC （延長約3.0km）

※今回開通する区間は、これまでと同様無料となります。

※会津縦貫北道路は自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、二輪車（125cc以下）は通行できません。

2. 開通日、開通式典等の日時については、後日お知らせします。

<発表記者会：郡山記者クラブ・会津若松市記者クラブ・喜多方日刊新聞記者クラブ>

【 問 い 合 わ せ 先 】

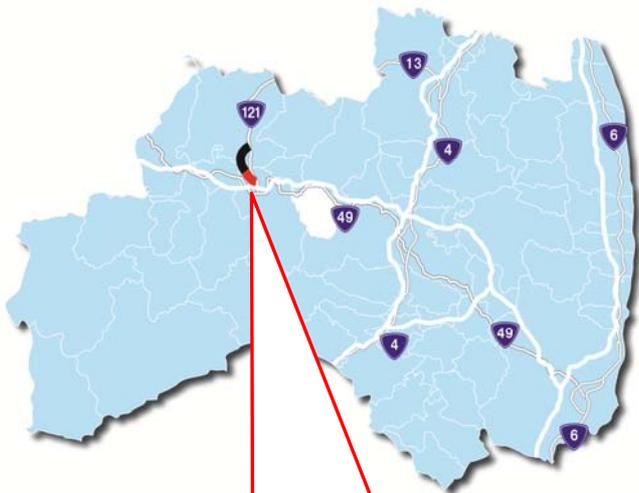
国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所
TEL 024-946-0333（代表）

技術副所長 中村 幹男（内線：204）
工務課長 佐藤 幸喜（内線：411）

一般国道121号

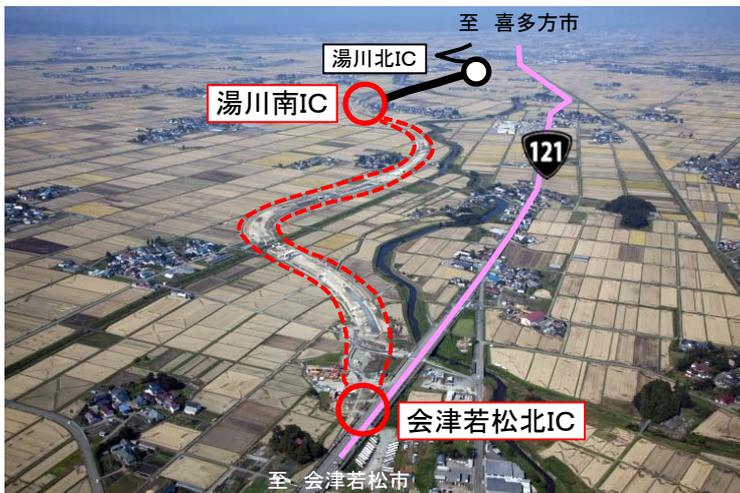
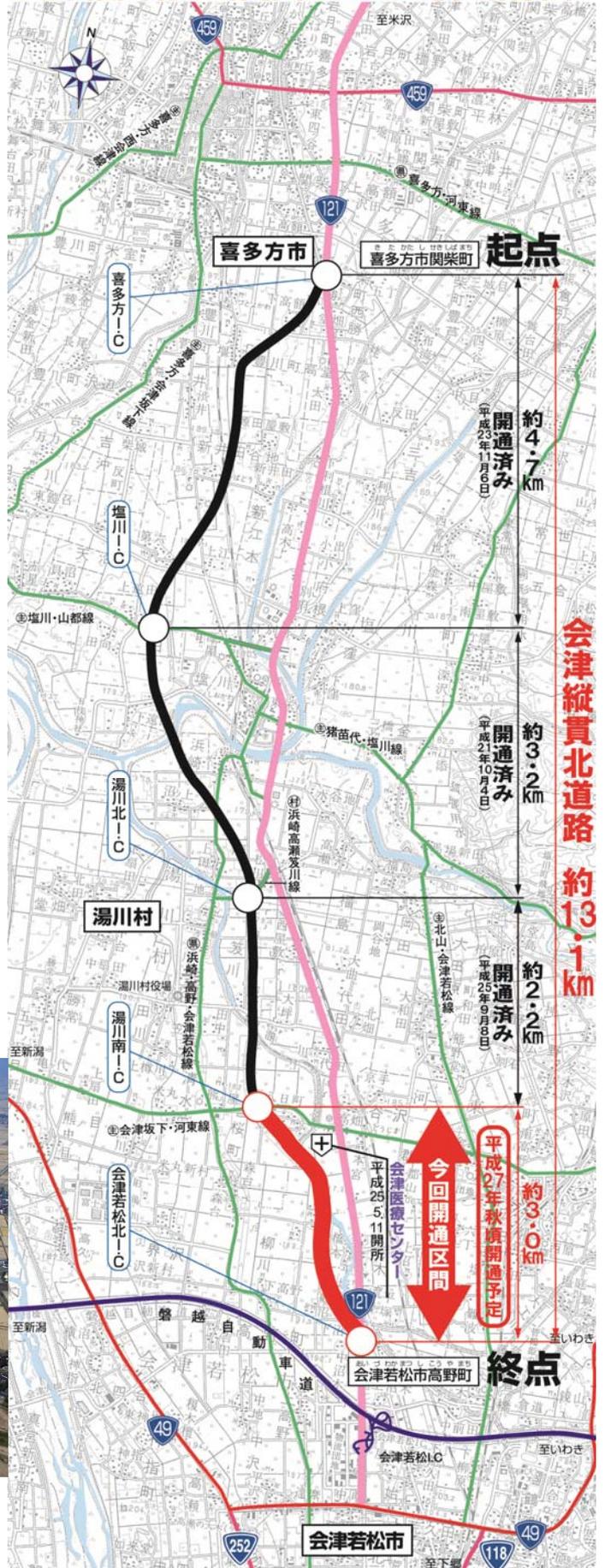
あいづじゅうかんきた 会津縦貫北道路

ゆがわみなみ あいづわかまつきた
湯川南IC～会津若松北IC
(延長約3.0km)



一般国道121号 会津縦貫北道路
湯川南IC～会津若松北IC

会津縦貫北道路(国道121号)路線図



今回の開通区間
(会津若松市側から喜多方市側を望む)

【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平23東複、第100号)】

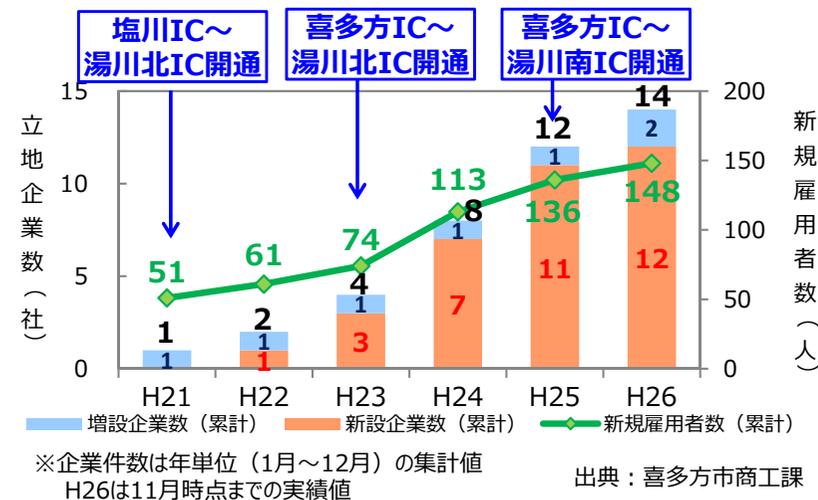
喜多方市へ企業14社が進出・増設し、新たな雇用を創出

- ◆ 会津縦貫北道路の開通以降、喜多方市へ企業12社が進出、2社が増設し、新たな雇用（148名）を創出
- ◆ また会津縦貫北道路の開通以降、喜多方市の有効求人倍率の伸びが4倍に（H26/H21）

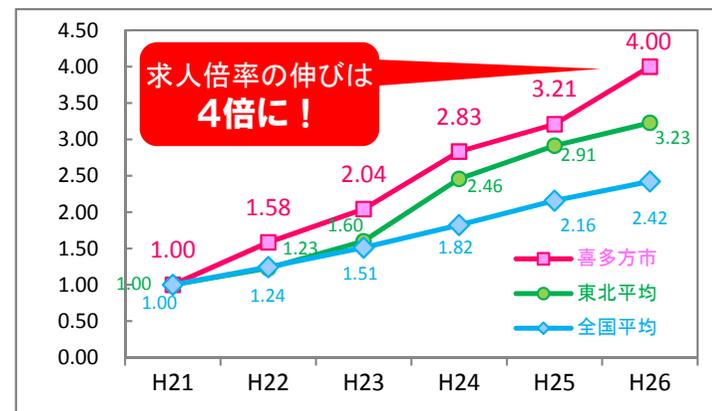
▼喜多方市へ新設・増設した企業の立地状況（H21～H26）



▼喜多方市へ新設・増設した企業数・新規雇用者数（累計値）の推移（H21～H26）



▼有効求人倍率の伸び率の推移（H21基準）



※求人倍率は年度単位（4月～翌年3月）の集計値
H26は4月～翌年1月までの集計値
出典：喜多方市商工課、厚生労働省

主要観光拠点間のスムーズな移動確保により、観光振興を支援

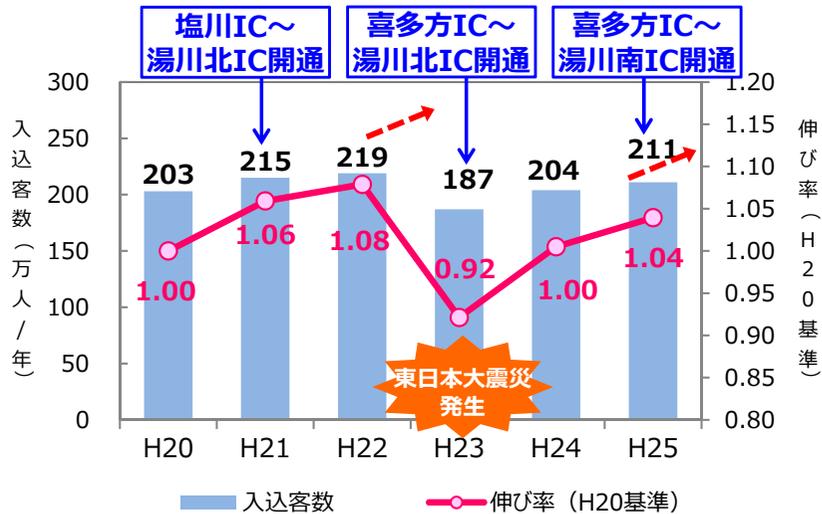
- ◆会津縦貫北道路の開通により、移動時間の短縮が図られ、喜多方市の観光入込客数も増加傾向
- ◆全線開通により、磐越自動車道会津若松ICとのアクセス性が向上し、会津地方の主要観光拠点間の移動がスムーズになり、観光入込客数の増加が期待される

観光客の行列で賑わう喜多方市内のラーメン店



喜多方を訪れる観光客の8割以上はまちなかに立ち寄り（その約9割はラーメン目当て）、会津若松や磐梯とセットで来訪される方が多い。
 （新・喜多方市観光戦略策定調査報告書（H19.3）より）

▼喜多方市の観光入込客数の推移（H20～H25）



※観光入込客数は年単位（1月～12月）の集計値 出典：喜多方市



迅速・安定した救急搬送ルートを確認

- ◆ 喜多方市内の重篤患者は隣接する会津若松市内の病院へ搬送（123件/月）しており、近年は増加傾向
- ◆ 全線開通により、さらに迅速かつ安定した救急搬送ルートを確認

▼会津縦貫北道路の開通で会津若松市内病院へのアクセスが向上



会津地域全体の医療を支える総合医療機関として開院 (H25.5.5)

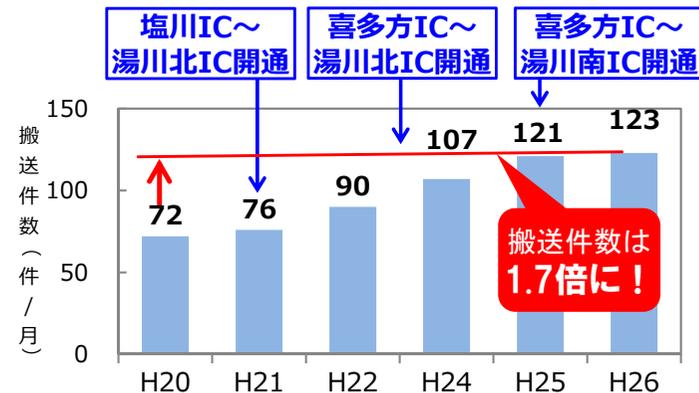


福島県立医科大学 会津医療センター

会津中央病院 (3次救急医療施設)

竹田総合病院

▼救急搬送件数の推移 (喜多方消防管内→会津若松市内病院)



※救急搬送件数は年度単位 (4月～翌年3月) の集計値 出典：喜多方消防本部
H23はデータなし、H26は9月時点までの実績値

国道121号

交差点内通過、追越などで前後方向の加減速が多く、患者への負担が大きい



▼信号交差点数の変化 (喜多方市～会津中央病院)

